

## 8. 喫煙について

### Q31 たばこを吸いますか [択一]

全学では92.5%の学生が「吸わない」と回答した。一方で2.2%が「時々吸う」、4.3%が「毎日吸う」と回答しており、全体の6.5%の学生が喫煙者であった。学生の喫煙率は低い傾向にあった。男女別では、男子学生の11.1%、女子学生の0.8%が「時々吸う」または「毎日吸う」と回答しており、男子学生の方が喫煙率は高いことがわかる。

年度別の集計では、2005年度85.7%、2010年度87.9%、2015年度92.5%と禁煙率は増加している傾向にあった。喫煙する学生のうち、「毎日吸う」学生の割合は年度毎に減少傾向であり、2005年度10.2%であったのが2015年度には4.3%となっている。

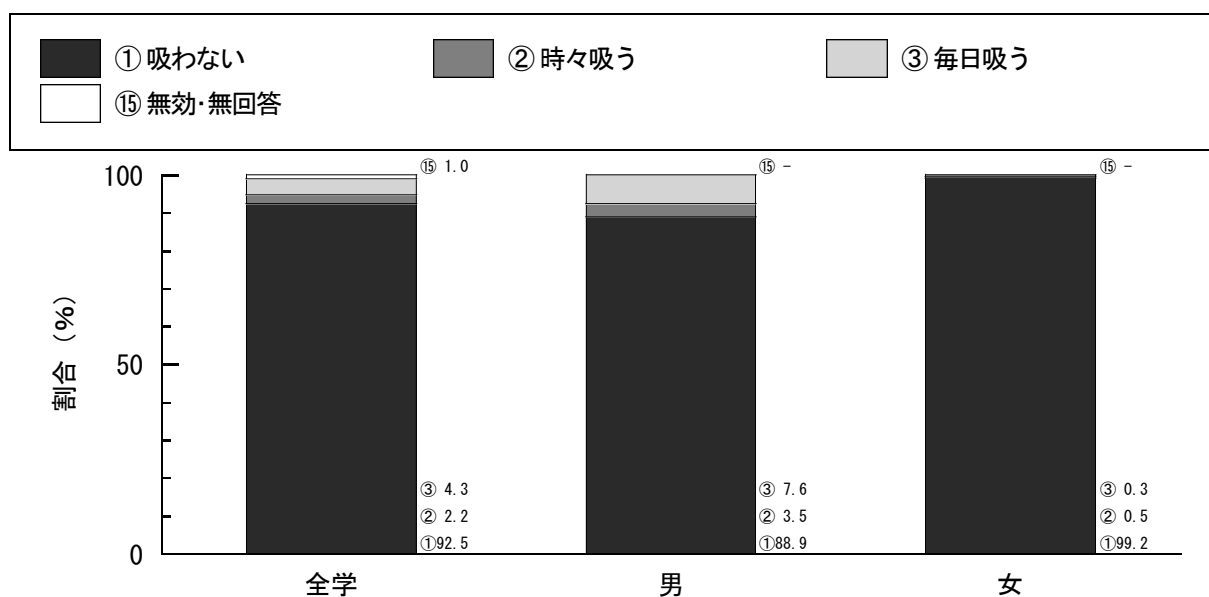


図8-1-a Q31の集計結果(全学・男・女別)

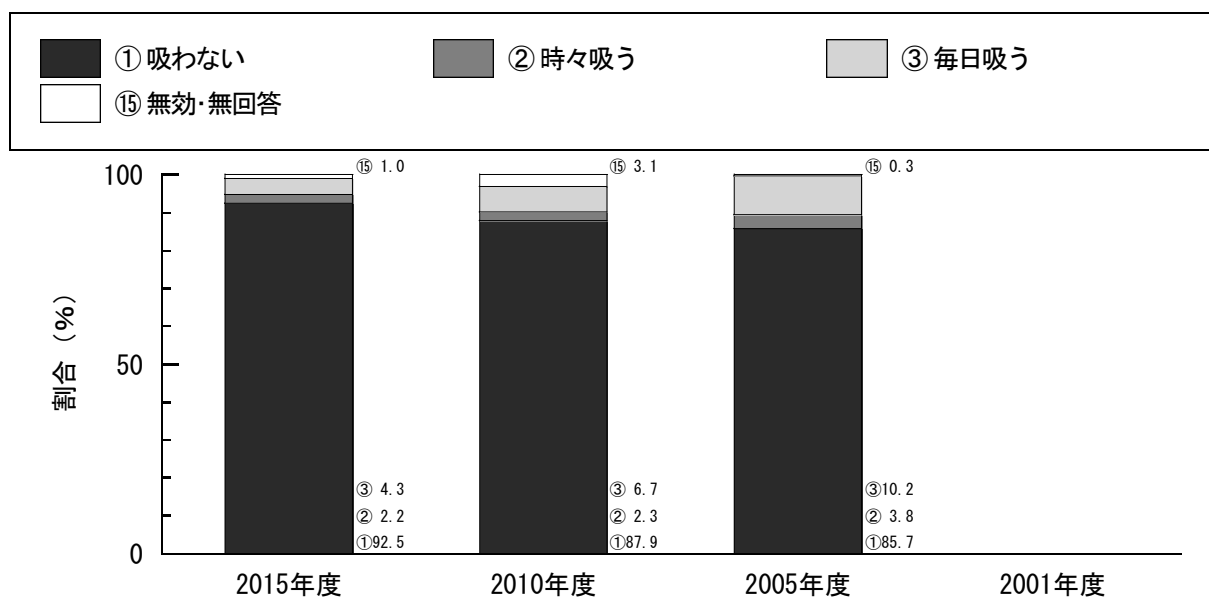


図8-1-b Q31の集計結果(全学に関する調査年度別)

Q31-SQ1 1日の喫煙本数は平均でどのくらいですか [択一]

喫煙者の1日の喫煙本数に関して、42.9%が「1～5本/日」、27.6%が「5～10本/日」、22.4%が「10～20本/日」であった。Q31に示すように学生の喫煙率は低く、かつ女子学生に関しては0.8%と非常に低い。結果として女子学生の喫煙本数を把握するのに十分なデータが得られていないために、男女の比較を行うことは難しい。参考までに「1～5本/日」に関して比較してみると、男子学生41.4%に対して女子学生は60.0%であることから、およそ男子学生の方が女子学生より喫煙本数は多いのではないだろうかと考えられる。

「1～5本/日」に関して、2010年度29.0%に対して2015年度は42.9%となっており、増加傾向にある。「5～10本/日」に関して年度間に相違はほとんどみられないが、「10～20本/日」に関しては2015年度の割合は2010年度より減少している。よって2010年度と比較して2015年度では喫煙本数は減少傾向を示していると言える。

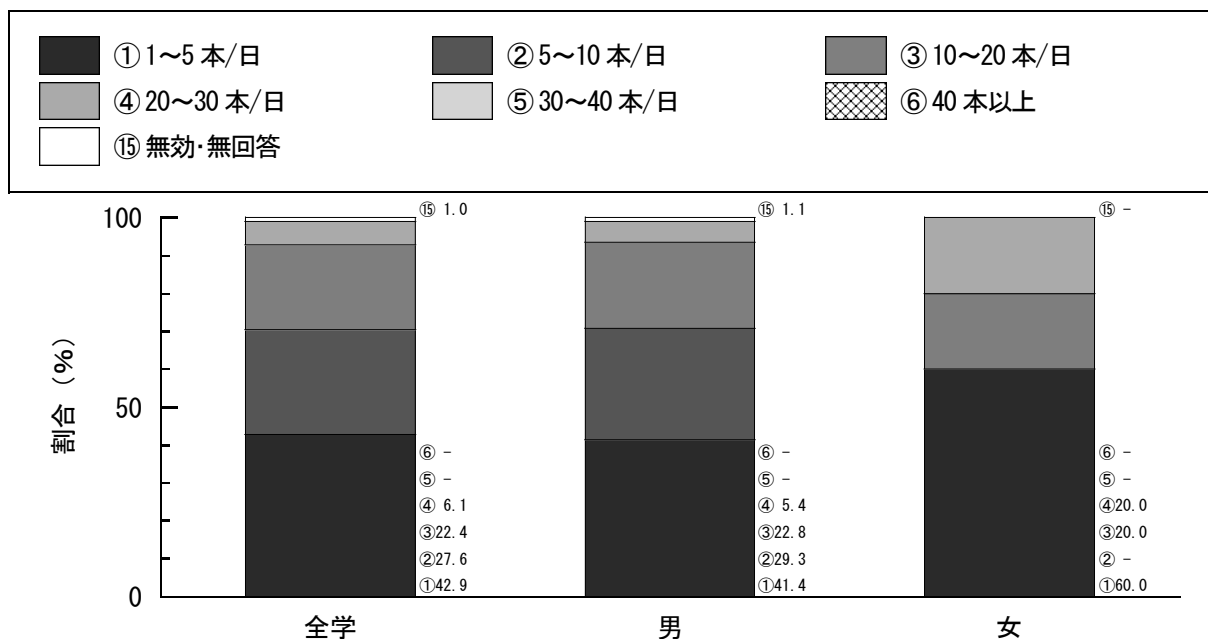


図8-2-a Q31-SQ1の集計結果 (全学・男・女別)

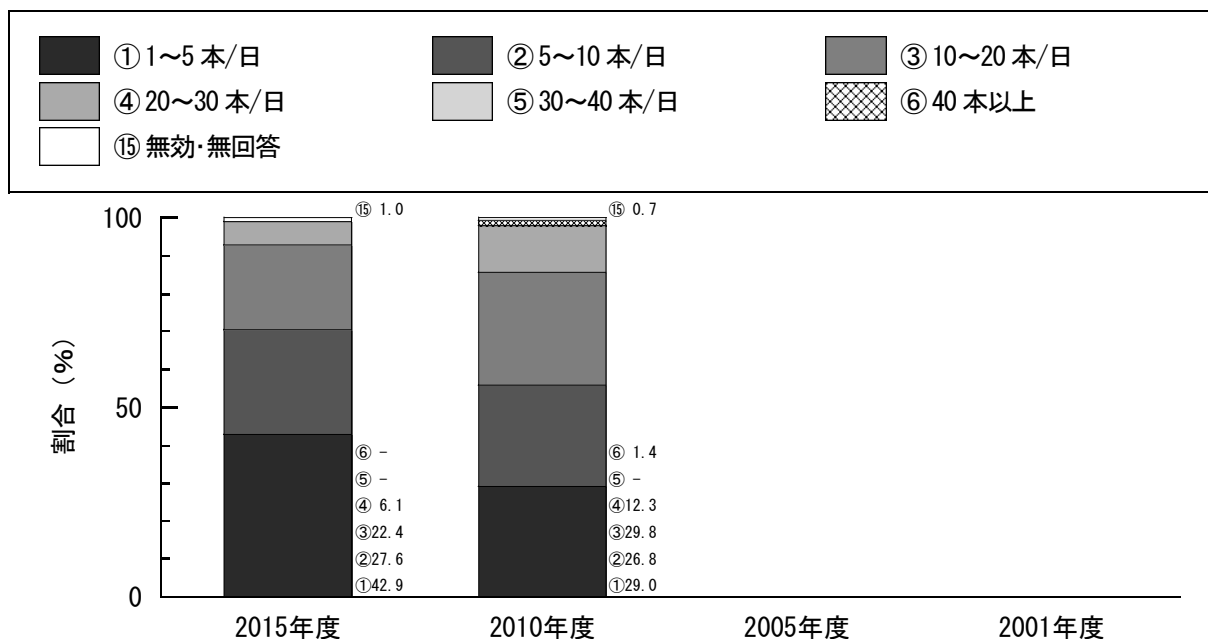


図8-2-b Q31-SQ1の集計結果 (全学に関する調査年度別)

Q31-SQ2 喫煙を開始するようになったのは、いつ頃（何歳頃）からですか [択一]

「大学2年」からの喫煙開始が37.8%と最も多く、次に「大学1年」の24.5%、そして「大学3年」の16.3%となっている。「未成年」からの喫煙開始に相当する「13～15歳（中学生）」と「16～18歳（高校生）」の合計値は13.2%であった。Q31-SQ1に記したように女子学生の喫煙者が少ないため、男女間を比較することは難しい。

「未成年」からの喫煙開始に関して、2010年度では32.6%であったのに対して2015年度では13.2%と減少している。一方で「大学1～4年」に関しては、2010年度は58.7%であったのに対して2015年度は81.7%と増加している。近年、喫煙開始時期は遵法傾向になっていると言える。

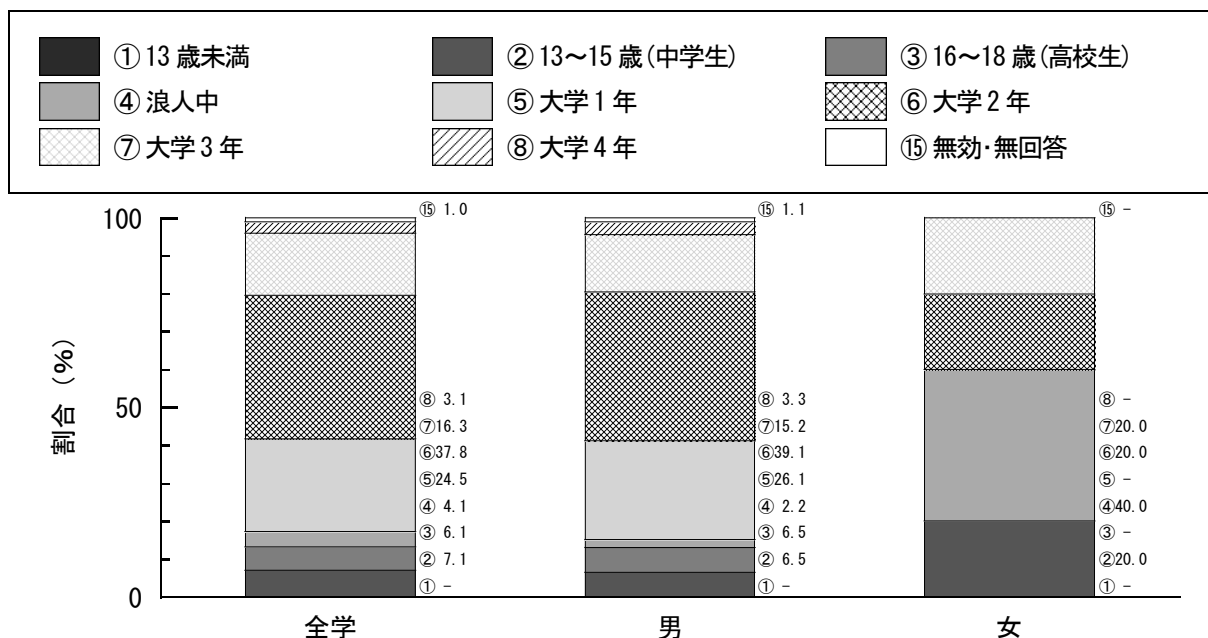


図 8-3-a Q31-SQ2 の集計結果 (全学・男・女別)

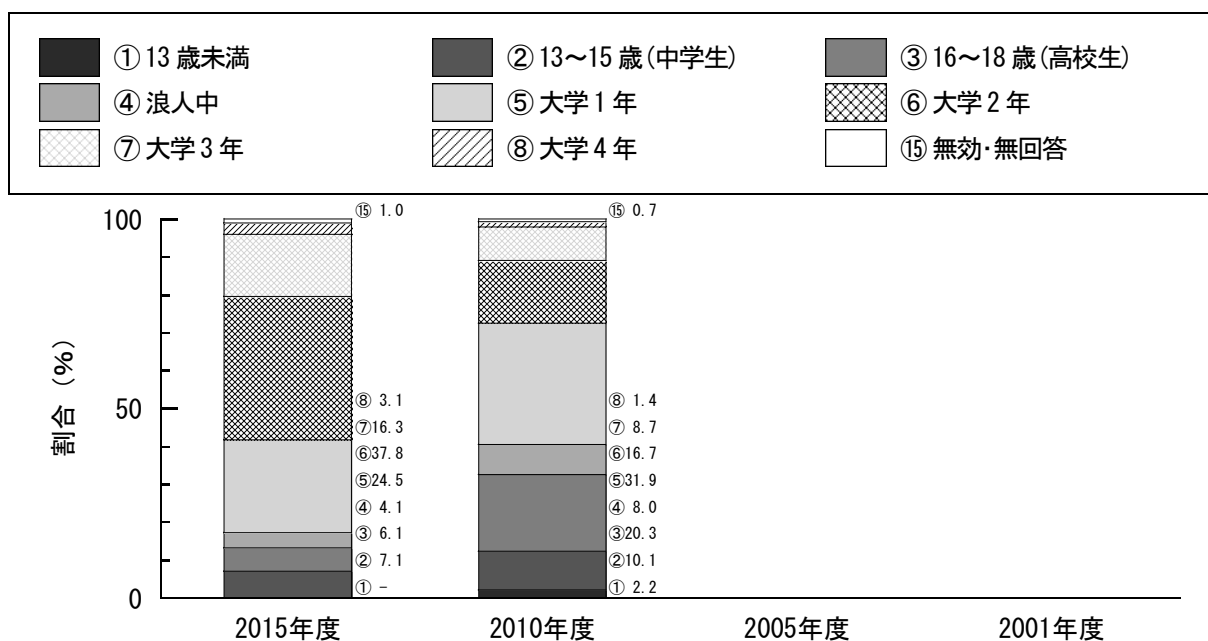


図 8-3-b Q31-SQ2 の集計結果 (全学に関する調査年度別)

Q31-SQ3 禁煙を考えたことがありますか [択一]

9.2%の学生が「現在、禁煙を実行中」と回答し、9.2%の学生が「1ヶ月以内に禁煙する予定」または「半年以内に禁煙する予定」と回答した。また55.1%の学生は禁煙する「必要性は感じている」ようであった。一方で24.5%の学生は「禁煙を考えたことは全くない」と回答した。Q31-SQ1に記したように、女子学生の喫煙者が少ないため、男女間を比較することは難しい。女子学生には「現在、禁煙を実行中」の回答者はいなかった。

「禁煙を考えたことは全くない」に関しては、2010年度と2015年度の間に相違はほとんどみられない。「現在、禁煙を実行中」と「1ヶ月以内に禁煙する予定」と「半年以内に禁煙する予定」の合計値に関しては、2010年度は31.1%であるのに対して2015年度は18.4%と減少している。反対に「必要性は感じている」に関しては、2010年度は45.8%であるのに対して2015年度は55.1%と増加している。禁煙を実行する傾向が下がってきているのかもしれない。

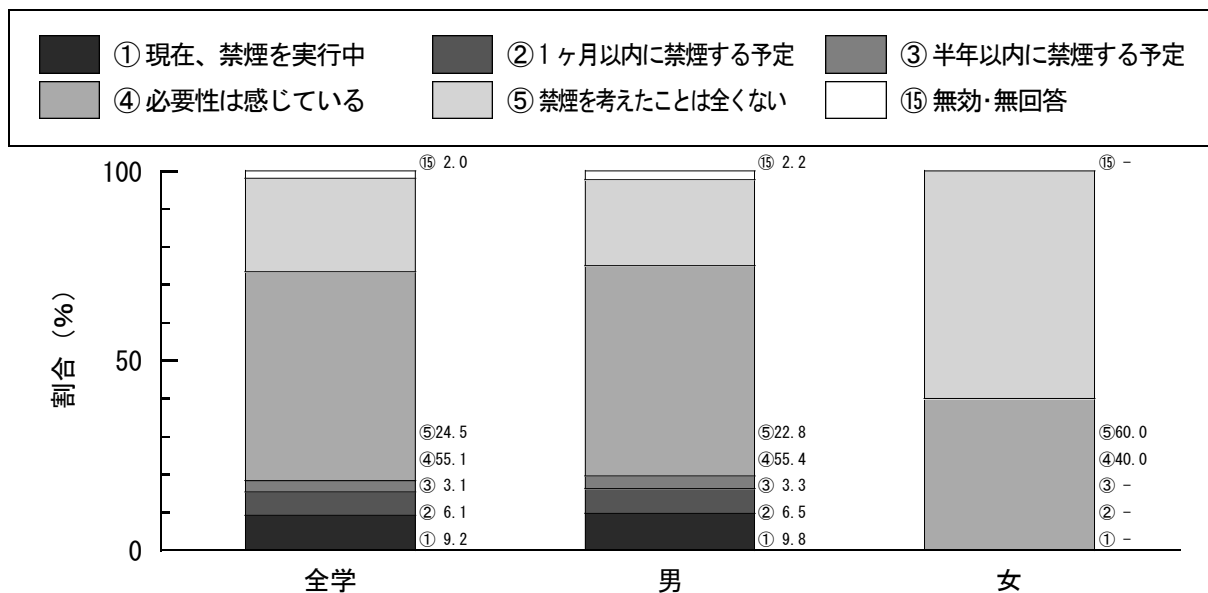


図8-4-a Q31-SQ3の集計結果 (全学・男・女別)

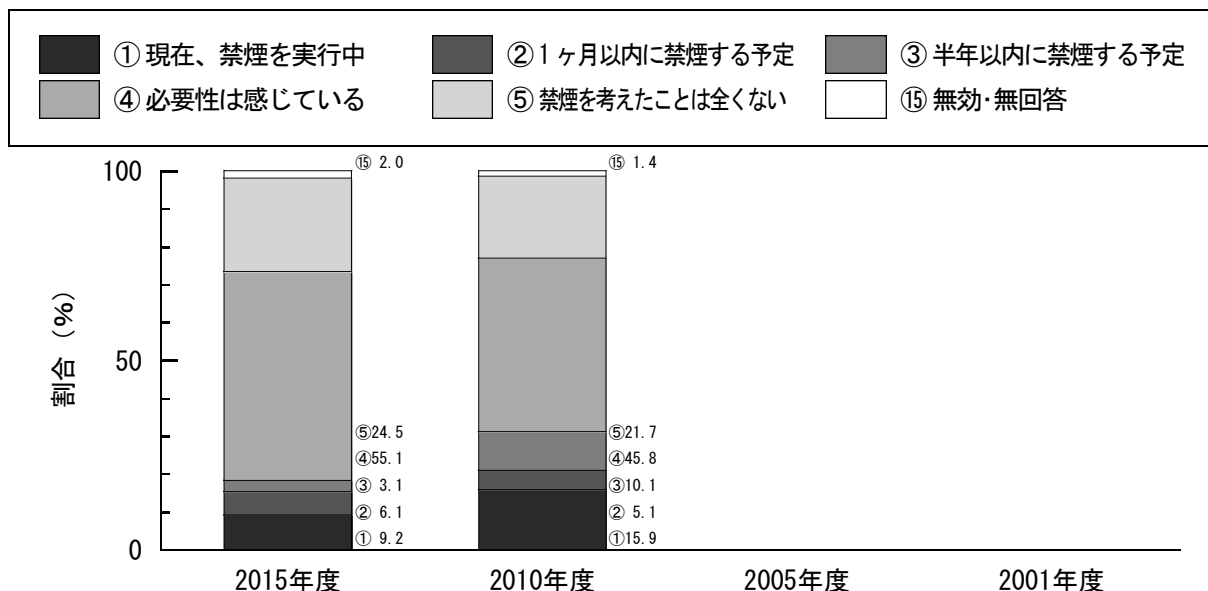


図8-4-b Q31-SQ3の集計結果 (全学に関する調査年度別)

### Q32 保健管理センター提供の禁煙支援プログラムを知っていますか [択一]

80.1%の学生が保健管理センター提供の禁煙支援プログラムの存在を「知らない」と回答し、18.8%の学生は「知っている」と回答した。禁煙支援プログラムの認知度は低く感じられるが、Q31 に示した喫煙率が 6.5%であるということを考慮すると、およそ喫煙者は禁煙支援プログラムを知っているとも考えられる。男女間における相違はほとんどみられない。

2010 年度と比較して 2015 年度には保健管理センター提供の禁煙支援プログラムを知っている割合が、11.6% から 18.8% と大幅に増加している。

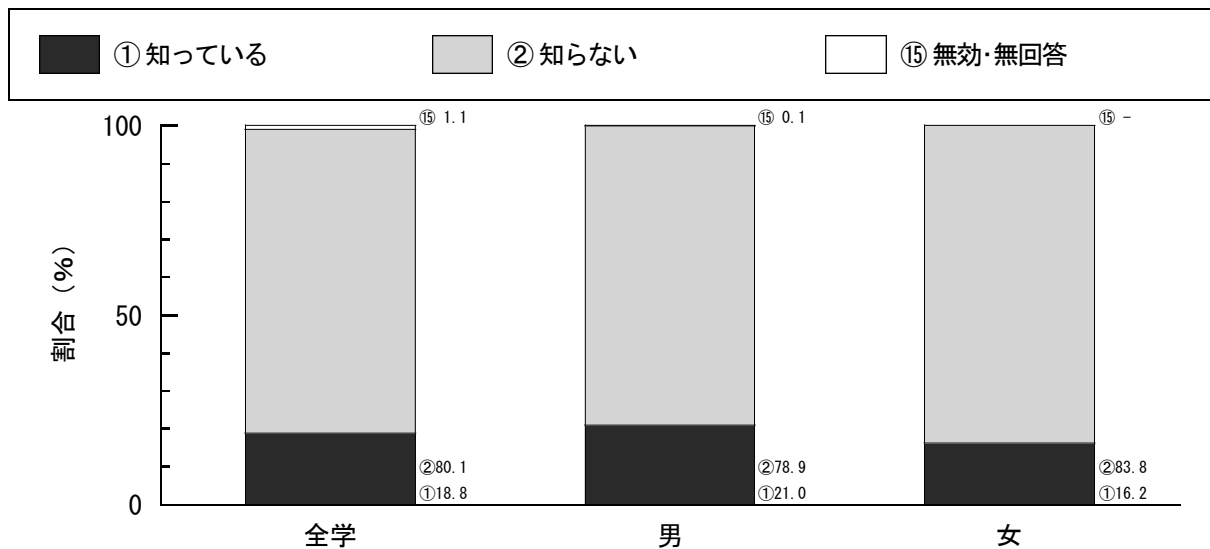


図 8-5-a Q32 の集計結果 (全学・男・女別)

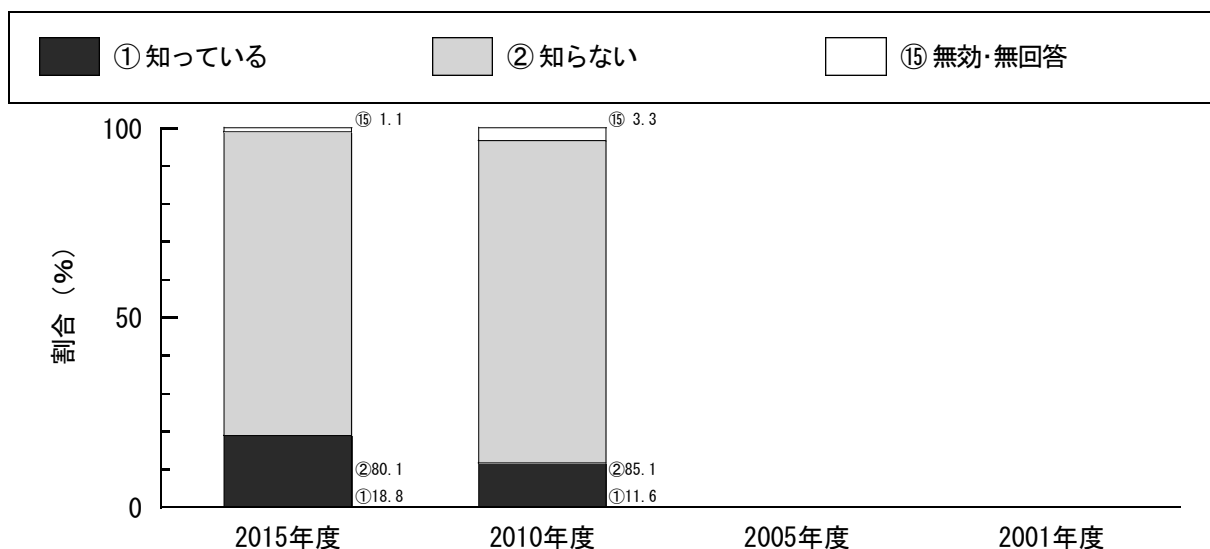


図 8-5-b Q32 の集計結果 (全学に関する調査年度別)

### Q33 受動喫煙がもたらす健康被害について知っていますか [択一]

62.3%の学生が、受動喫煙がもたらす健康被害を「知っている」と回答し、34.7%の学生は「ある程度は知っている」と回答した。「全く知らない」学生は1.9%と少数であった。男女間における相違はほとんどみられない。2010年度と2015年度との間における相違はほとんどみられない。

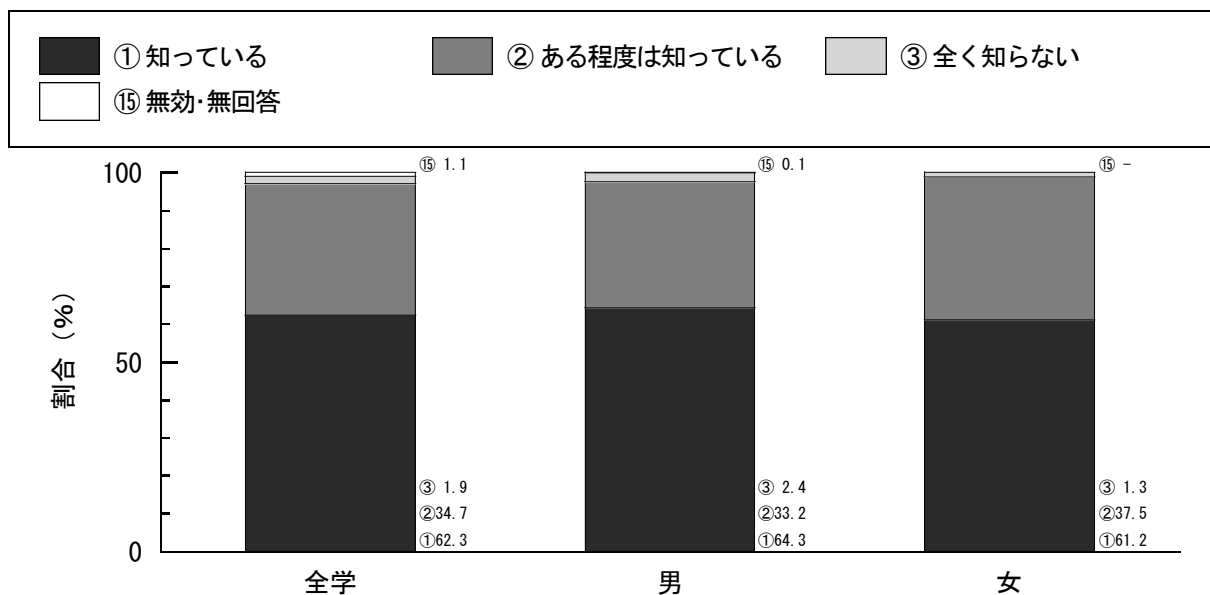


図 8-6-a Q33 の集計結果 (全学・男・女別)

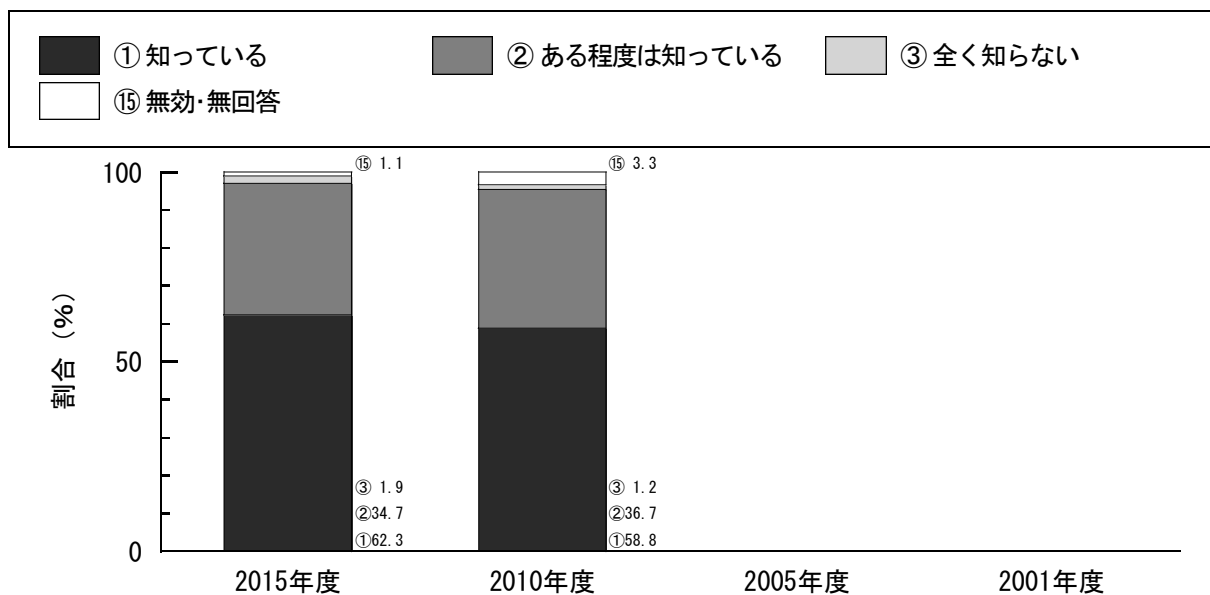


図 8-6-b Q33 の集計結果 (全学に関する調査年度別)

Q34<sub>1</sub> 【吉田・常盤キャンパスの学生のみ】

大学構内では喫煙場所以外での喫煙が禁止されていることを知っていますか [択一]

吉田および常盤キャンパスの学生（医学部の2年生以上を除く学生）のうち89.7%が、吉田および常盤キャンパスの大学構内では喫煙場所以外での喫煙が禁止されていることを「知っている」と回答し、「知らない」学生は9.9%であった。男女間における相違は全くみられない。

2005年度、2010年度、2015年度における回答状況に関して、その差異はほとんどみられない。

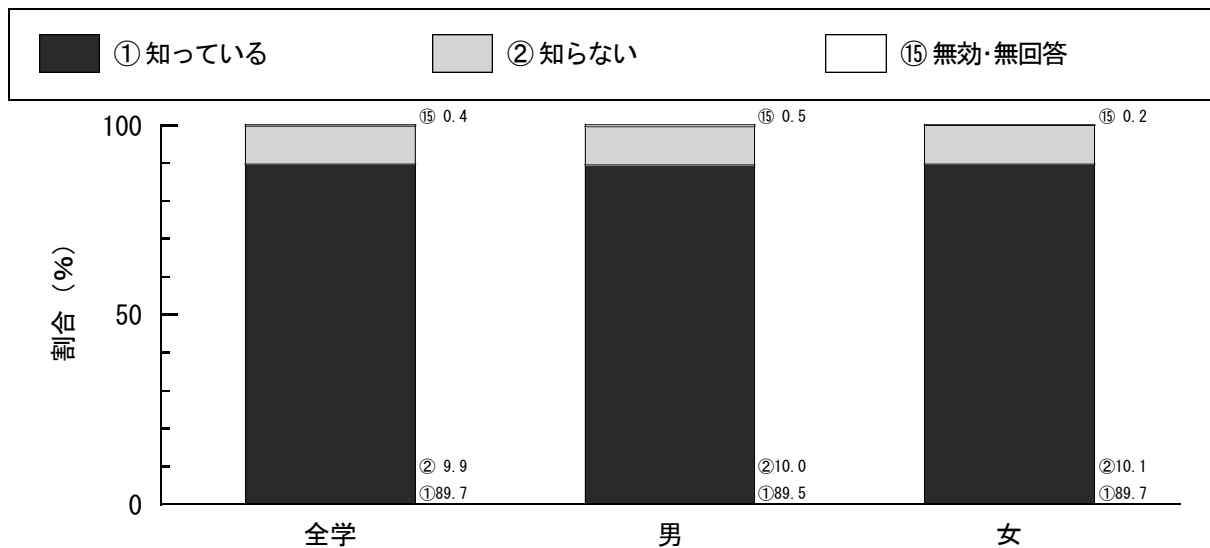


図8-7-a Q34<sub>1</sub>の集計結果（全学・男・女別）

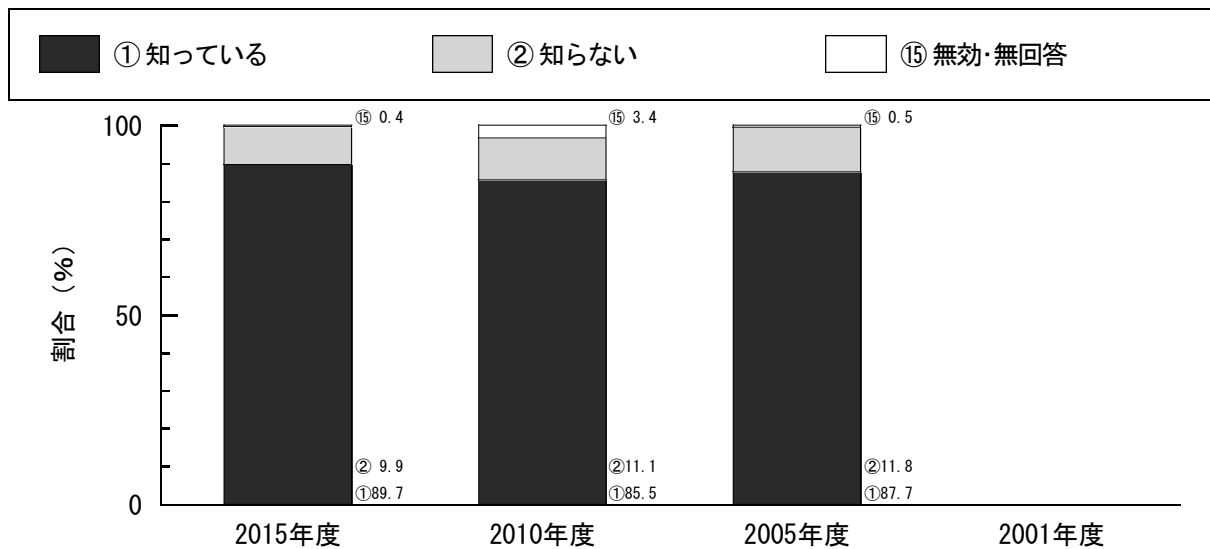


図8-7-b Q34<sub>1</sub>の集計結果（全学に関する調査年度別）

Q34<sub>2</sub> 【小串キャンパスの学生のみ】

大学構内が敷地内禁煙であることを知っていますか [択一]

小串キャンパスの学生（医学部の2年生以上の学生）のうち96.8%が、小串キャンパスの大学構内が敷地内禁煙であることを「知っている」と回答し、「知らない」学生はわずか2.4%であった。Q34<sub>1</sub>の吉田および常盤キャンパスの分煙実施状況の認知度89.7%と比べると、こちらの方が認知度は高いと言える。男女間における相違はほとんどみられない。

2010年度と比較すると、大学構内が敷地内禁煙であることの認知度は、92.3%から96.8%へとわずかに増加しているように感じられる。

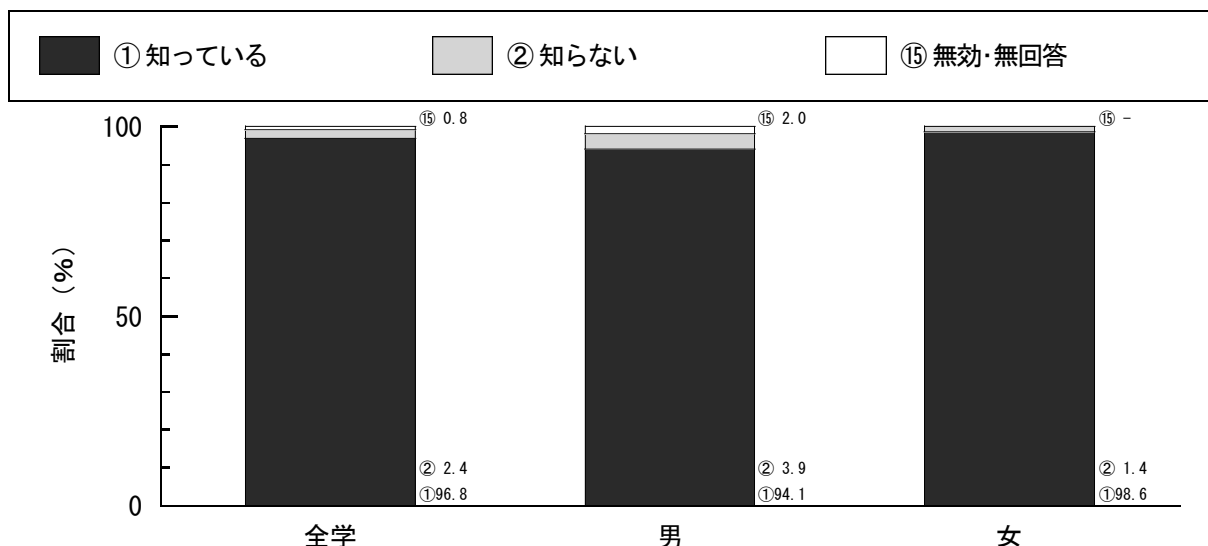


図8-8-a Q34<sub>2</sub>の集計結果（全学・男・女別）

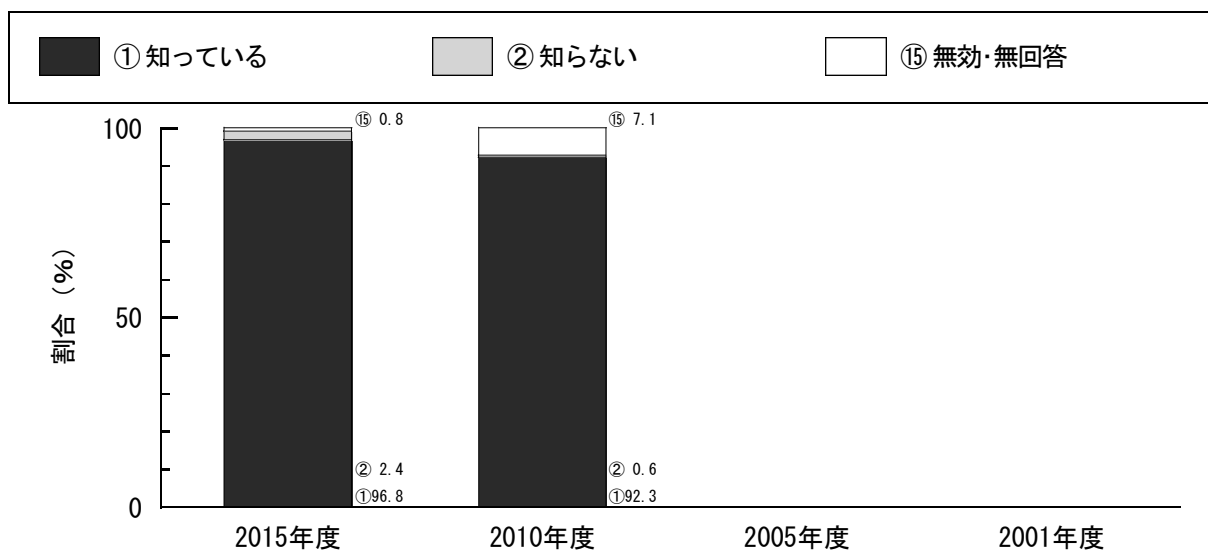


図8-8-b Q34<sub>2</sub>の集計結果（全学に関する調査年度別）



### Q35 大学の現在の喫煙対策についてどう思いますか [択一]

48.6%の学生が大学の現在の喫煙対策に「概ね満足している」と回答しているが、20.0%の学生は「もっと厳しくしてほしい」と回答している。また16.2%の学生は「喫煙対策にあまり関心がない」と回答し、9.7%の学生は「どんな対策が取られているのか知らない」と回答した。「概ね満足している」に関しては、男子学生が45.2%であるのに対して女子学生が54.1%と、女子学生のほうが高くなっている。「もっと厳しくしてほしい」や「喫煙対策にあまり関心がない」、および「どんな対策が取られているのか知らない」に関しては、男女間にそれほど大きな差異はみられない。しかし「厳しすぎると思う」に関しては、男子学生が7.0%であるのに対して女子学生が1.3%と、男子学生のほうが高くなっている。

「もっと厳しくしてほしい」に関して、2010年度は29.9%であったのに対し2015年度では20.0%と減少している。一方で「概ね満足している」に関しては、2010年度37.7%から2015年度48.6%と増加している。大学の現在の喫煙対策に対する満足度が増加しているということになる。

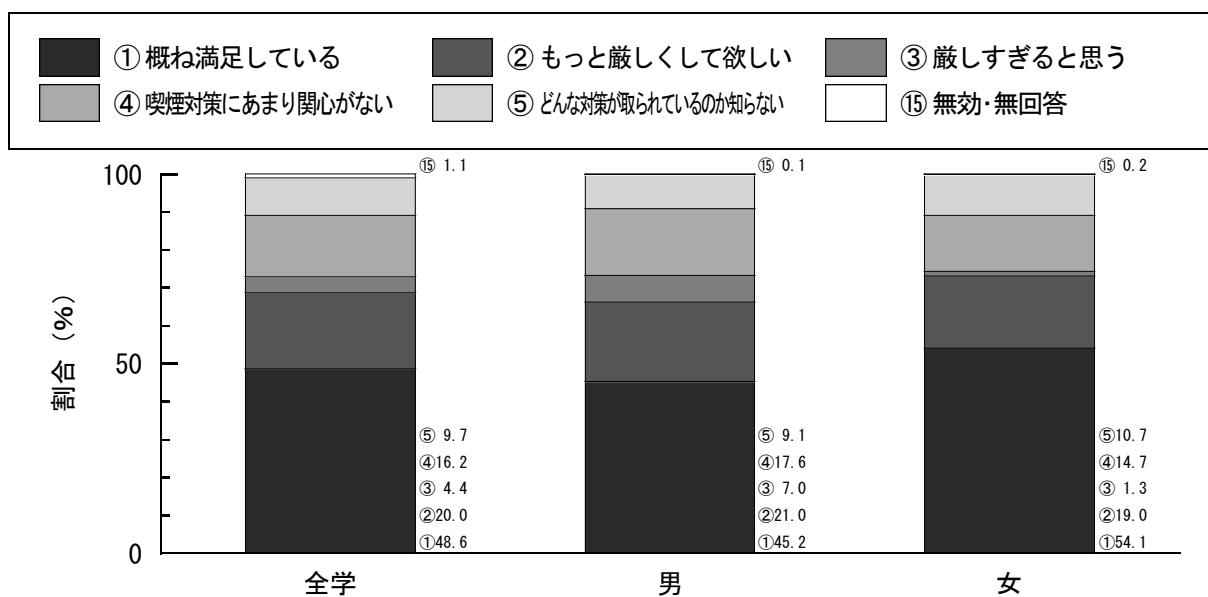


図8-9-a Q35の集計結果(全学・男・女別)

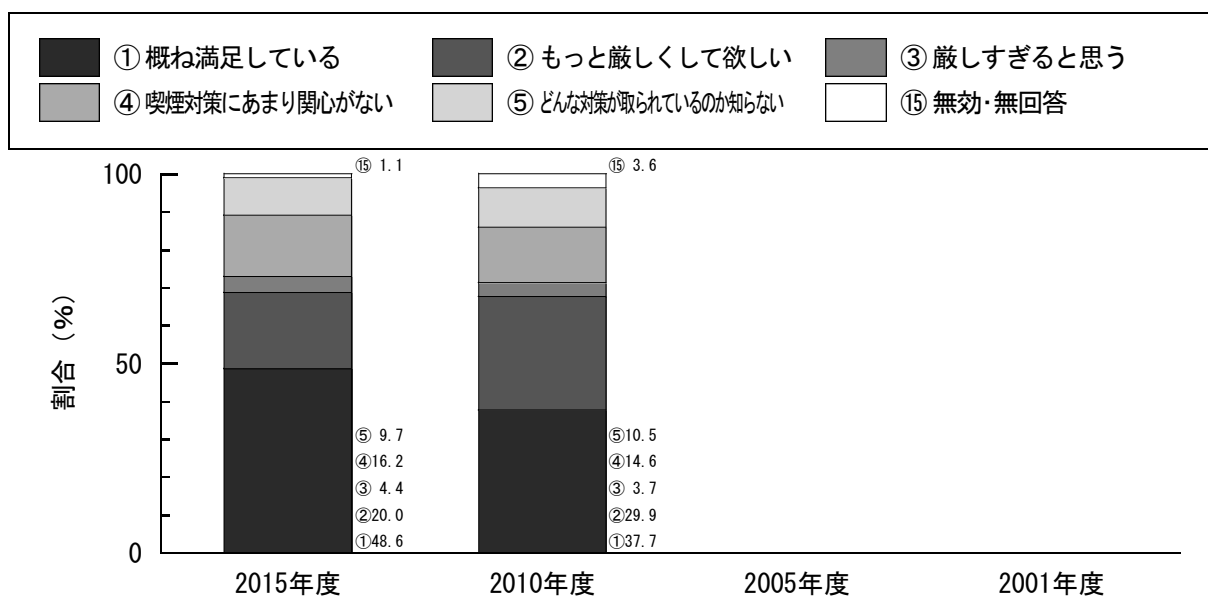


図8-9-b Q35の集計結果(全学に関する調査年度別)

Q36 大学敷地内を全面禁煙化（敷地内に喫煙場所を設置しない）することについて  
 どう思いますか [択一]

58.5%の学生が大学敷地内を全面禁煙化（敷地内に喫煙場所を設置しない）することに対して「賛成・積極的に受け入れる」と回答した。一方で「反対・受け入れられない」は8.5%であった。「賛成・積極的に受け入れる」に関して、男子学生は52.5%であり、女子学生は68.1%と、共に半数を上回っており、特に女子学生のほうが高くなっている。一方で「反対・受け入れられない」に関しては、男子学生が12.7%であるのに対し女子学生が3.3%であることから、男子学生のほうが高いと言える。「どちらとも言えない」はおおよそ3割と男女間に相違はほとんどみられない。

2010年度と2015年度に関して、両者の間に相違はほとんどみられない。

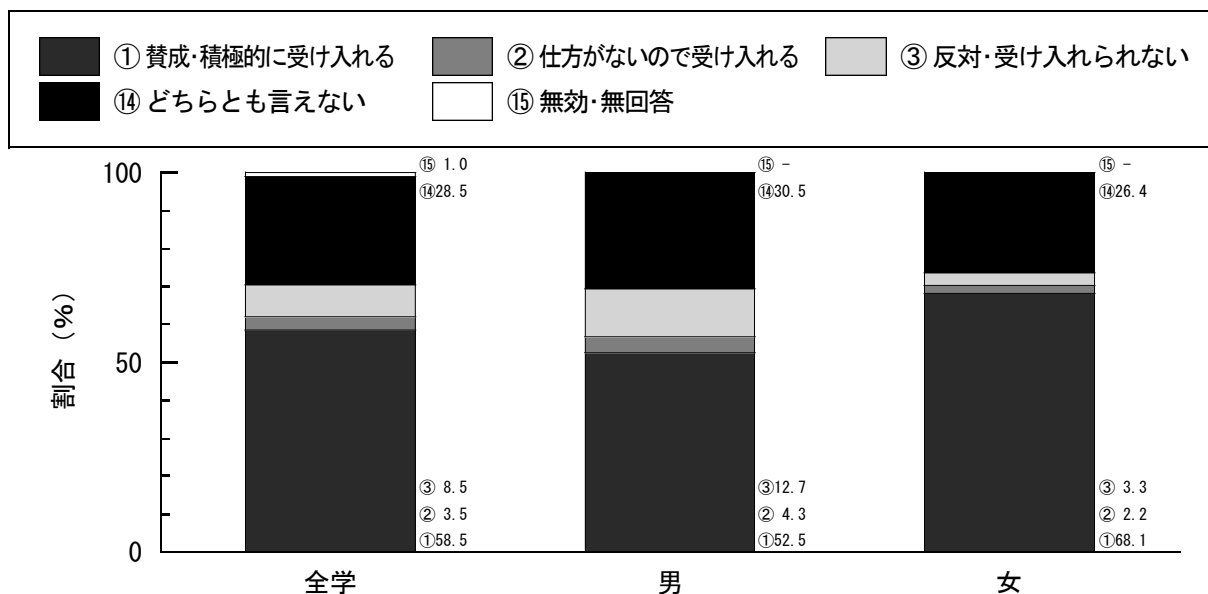


図8-10-a Q36の集計結果（全学・男・女別）

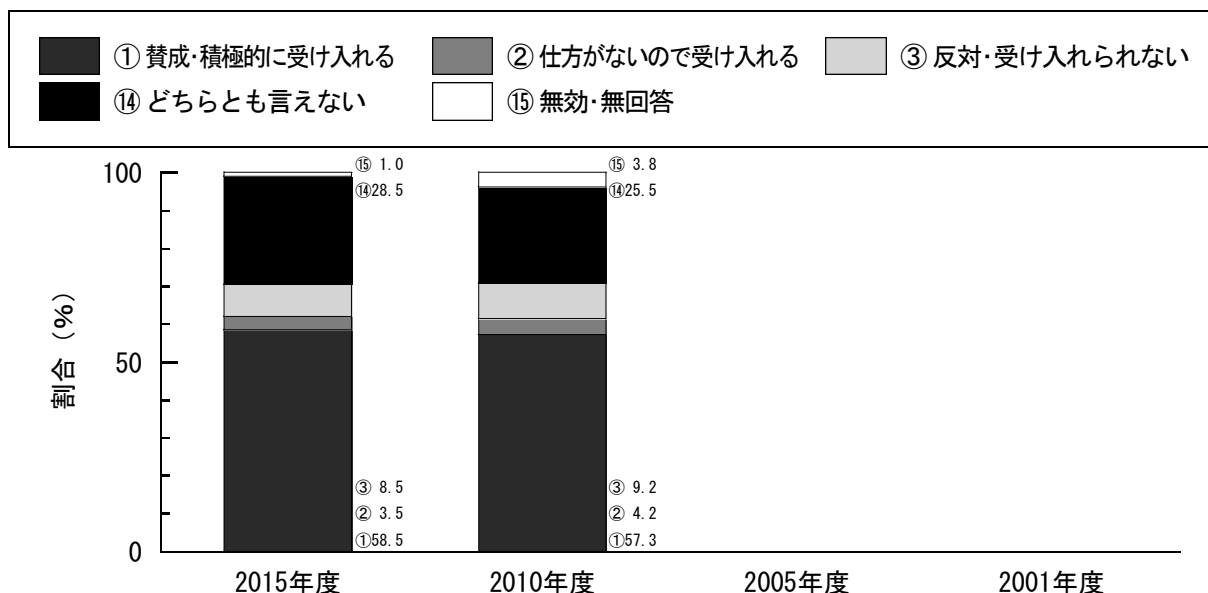


図8-10-b Q36の集計結果（全学に関する調査年度別）